

研究機関：広島大学

研究課題名	リウマチ性多発筋痛症治療におけるステロイド漸減に関する疫学研究
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二
研究期間	平成 29 年 11 月 10 日(倫理委員会承認後)～平成 30 年 12 月
対象者	平成 21 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日に広島大学病院リウマチ膠原病科を受診した膠原病患者で、リウマチ性多発筋痛症と診断した患者さん。
意義・目的	リウマチ性多発筋痛症は 50 歳以上の高齢者に好発する原因不明の炎症性疾患です。少量ステロイドが著効しますが、ステロイド漸減中に症状再燃することが多く、ステロイドの副作用を最小限に抑えながら病勢コントロールを行うことが重要です。ステロイド漸減が可能かを予測する指標となるマーカーがないか研究し、患者さんの予後を改善する目的で本研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状・所見、血液検査値、画像検査、病理検査、治療法、転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山英二
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5539 広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二 広島大学病院リウマチ・膠原病科 医科診療医 湯川 和俊